

ブラジル連邦共和国

(Federative Republic of Brazil)

I 概要

1. 人口	約2億784万人 (2015年, 世銀)	5. 1人当たり国内総生産 (GDP)	11,613ドル (2014年, 世銀)
2. 面積	851.2万平方キロメートル(日本の22.5倍)	6. 首都	ブラジリア
3. 政治体制	連邦共和制 (大統領制)	7. 通貨単位	リアル
4. 言語	ポルトガル語		

《出典》外務省ウェブサイト (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/brazil/data.html>) (更新日: 2016年11月28日)。

II 教育の普及状況

教育段階	年	在籍率	性別	
			男	女
就学前教育	2008年	65%	66%	65%
初等教育	〃	127%	132%	123%
中等教育	〃	101%	96%	106%
高等教育	2009年	36%	31%	42%

(通常の年齢よりも早い又は遅い入学や留年等を理由とする該当年齢以外の在籍者を含む)

III 教育行政制度

教育省は、大統領任命による全国教育審議会と連携して、国の教育プランの策定、基礎教育、州及びそれ以下の自治体に対する学校制度に関する財政的技術的支援、さらに、大学等の高等級育機関に対する支援など、教育制度全般を所管している。州（連邦区も同様）は、主に初等・中等教育の実施に責任を負い、さらに市は、主に就学前及び初等教育の実施に責任を負っている。

IV 学校体系

(学年暦：2月～12月)

1. 就学前教育

就学前教育は、3歳以下を対象に保育センター、4～6歳児を対象に幼稚園で行われる。

2. 義務教育

義務教育は、6～15歳の9年である。

3. 初等・前期中等教育

初等・前期中等教育は、6歳入学で、「基礎教育」(Ensino Fundamental)として9年間行われる。基礎教育は、前期5年間(第1～5学年)と後期4年間(第6～9学年)から成り、それぞれ小学校と中学校で行われるが、同一の学校で行われる場合も少なくない。

4. 後期中等教育

後期中等教育は、高等学校の普通科(3年)と職業科(3又は4年)で行われる。コースにより、中等教育修了証や中等技術／職業教育修了証が得られる。

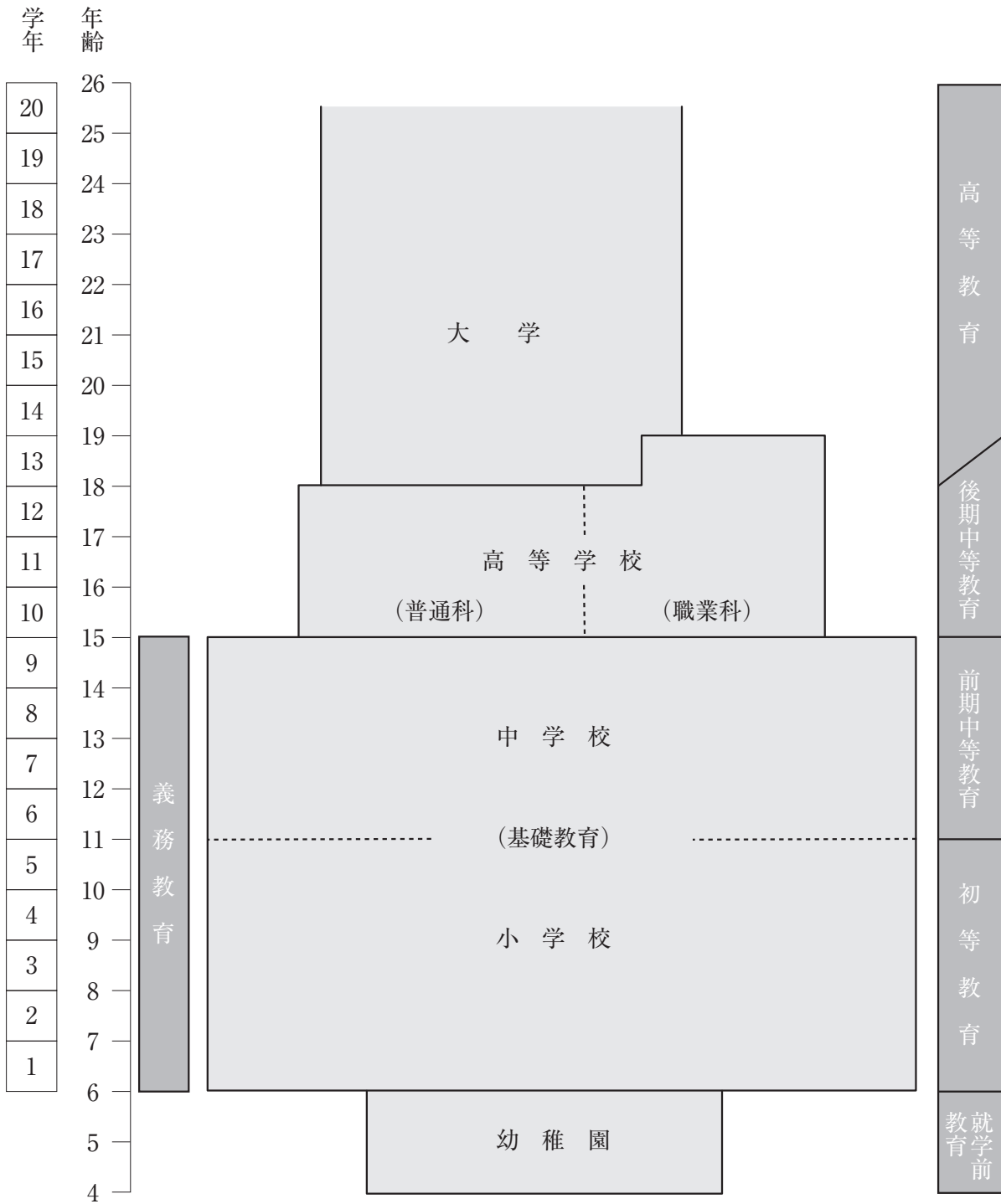
5. 高等教育

高等教育は、主に大学で行われ、職業教育を行う非大学型教育機関もある。大学への入学者の選抜に際しては、中等教育全国試験や個別入試が実施されている。大学には、分野により4～6年の学士課程、1～2年(通常2年)の修士課程、及び4年の博士課程が置かれている。このほか、教員ディプロマ(3年)や専門修士(1年～)、学士取得者を対象とする学卒専門サーティフィケート(1年)の取得課程も置かれている。大学ではさらに、準学位レベルの資格として、高等専門ディプロマ(2年～)や技術ディプロマ(2～3年)などの取得課程も置かれている。

《参考資料》

- UNESCO, World Data on Education, 7th edition, 2010/11.
- Australian Government, Country Education Profiles
(<https://internationaleducation.gov.au/CEP/The-Americas/Brazil/Pages/default.aspx>) (2016年7月5日閲覧).
- 二宮皓編著『新版世界の学校』(学事出版, 2014年)。

V 学校系統図



VI 取得可能な資格・学位

